



☆もうすぐ学力分析テスト返却☆

～弱さを知り強さに変える。受験に勝つとはこういうこと

(ドラゴン桜2)

4月の標準学力検査は、福岡県の同年代の中で、今の自分の実力はどのくらいの位置にあるかをはかることのできるとても貴重なテストでした。その結果を踏まえ、これまでの学習方法を見直し、次行われる実力テスト(3年は6月, 1, 2年は8月末)に向けて己を磨いていかなければなりません。その結果が、もうすぐ返却されることと、ハシゴン桜の名前の由来となったドラゴン桜2のドラマ化スタートを記念して、今回はドラゴン桜2のコミックにおける勉強法を紹介します。これは、昨年の3年生に紹介して、何人かの生徒は効率よく勉強できましたと言っていたので、試してみる価値はおおいにあると思われます。それでは、ドラゴン桜2で紹介されている受験マトリックスを紹介します。

受験マトリックス

	できた	できなかった
得意		
苦手		

まず、今回の実力テストの問題と解答用紙、そして付箋を準備します。(返却されてからやってみよう)そして、できた問題とできなかった問題をチェックし、例えば【連立方程式】が正解であれば付箋に【連立方程式】と書き、得意であれば「できた」「得意」のゾーンに貼ります。【確率】が不正解であれば付箋に【確率】と書き、苦手であれば「できなかった」「苦手」のゾーンに貼っていきます。これを1問ごとに繰り返して全問題をチェックして受験マトリックスを完成させます(裏面参照)。できたものをスマホで写真をとると、その写真が現時点での学力になるそうです(写真を撮るのは日付が記録されるため)。苦手できなかった項目を勉強してできるようになったら付箋を貼り直し写真を取り、次々と苦手項目を克服して「できた」「得意」のゾーンに移動させていきます。項目が最終的に「できた」「得意」に集中していれば、成績は大幅にアップしているに違いありません。この手法の最大の利点は自分の学力が可視化できることだそうです。勉強の成績のあがらない原因の一つに、自分の得意科目を「なんとなく」「ぼんやり」把握しているところにあるそうです。「なんとなく」「ぼんやり」は記憶していることにならず、テストでは0点だと思わなければいけません。そこから抜け出すために、自分の主観を可視化し、客観的なデータと比較して主観と客観のズレがわかれば「なんとなく」「ぼんやり」が消え、これによって「真の」客観性が生まれます。自分の力を正確に冷静に判断し、弱点を見つけ改善することで成績が伸びます。自分の力を自分で確かめる、これはとても怖くてできれば避けたいことですが、ここを逃げていては大きな成果は得られません。成功は掴めません。まずは勇気を出して自分と向き合い、ダメな部分も自分で認める、受け入れて克服する!

弱さを知り、強さに変える! 受験に勝つとはこういうことだ

そうです。『鉄は熱いうちに打て』、今からでも遅くありません。ぜひ試してみてください。

※No.6で受験マトリックスを載せますので、5教科分自分で作ってみましょう。



受験マトリックス (例: 数学)		
	できた	できなかった
得意	正の数・負の数 展開 連立方程式	式の値 2次方程式 角の度 わけの位置
苦手	ルート 反比例 一次関数	確率 因数分解 証明 体積

11/4



受験マトリックス (例: 数学)		
	できた	できなかった
得意	正の数・負の数 展開 連立方程式 わけの位置 ルート 角の度 式の値 2次方程式 反比例	因数分解 確率
苦手	一次関数 証明 体積	

11/22

